

# 松田町はたちの集い



1月8日(日)に20歳を迎える方たちの門出を祝う「松田町はたちの集い」を生涯学習センターにて開催しました。今年度に20歳を迎えた方は99人でした。20歳を迎えられた皆さま、保護者の皆さま、おめでとうございます。

## 代表者の意見発表

※広報用に成人式での発表内容から編集しています



はたちの集い出席者代表  
左 アリス

私は小さい頃から音楽が好きです。声や楽器に感情をのせて伝えることができるそんな音楽が大好きで、現在は歌手を目指しています。私が初めて1人でステージに立って歌ったのは中学校のお別れ会でのことでした。人前で歌うのはまだ恥ずかしくて、直前まで歌うのをやめようと思っていました。そんな時、先生方や友人に「大丈夫」「みんな待ってるよ」という言葉に背中を押され、何とか歌うことができました。勇気を出して歌った初めてのステージは、私の中で原動力として生きています。勇気を出すこと、素直に言葉にすること、特にこの2つを大事にして、この先も生きていきたいと思っています。そして、松田町の人の温かさを忘れずに、成人の気持ちをもって悔いのない人生を築いていくことを誓いたいと思います。

私が生まれた20年前の大きな出来事では、アメリカでの同時多発テロ事件を引き金としたイラク戦争への緊張感が国際的にも政治的にも、いろいろな側面を含め張りつめていたようです。そして、現在もロシア軍によるウクライナ侵攻が国際政治、経済の混乱を招いていることは、日本に暮らしている自分たちには実感が湧いてきません。近年の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、良くも悪くも今までの常識を覆しました。

今まで当たり前だったことができない日常には、驚きを受け、悲しい思いやつらい経験をした人がこの場に限らず世界中にいると思います。しかし、こうした生活は、成長をもたらしてくれたと私なりに感じています。家族との時間が増えることで家族の在り方や、両親、祖母へどれだけ助けられ生きてきたのか、感謝を伝えていなかったのかを身に染みて感じました。

昨今の環境問題などを受け、社会は利益中心主義から社会貢献へと転換するような流れが起き、こうした時代の背景の下で人々に何か大事なことを気付かせてくれるヒントを与えてくれたようにも感じます。

私は、今日から一人の人間として主体的に生きていきたいと思いたいと思います。松田町で20歳を迎えた仲間たちを代表して、この気持ちをお届けし、成長していくことを約束します。

最後になりますが、これまで育ててくれた両親、親族、学校の先生方、松田町の方々に感謝の意を表し、代表の言葉とさせていただきます。



はたちの集い出席者代表

遠藤 直輝